

メタンハイドレート開発促進事業

平成28年度予算額 **130.0億円（125.4億円）**

事業の内容

事業目的・概要

- 日本周辺海域に相当量の賦存が期待されるメタンハイドレートを、将来の安定的なエネルギー資源として利用可能とすることを目的として、「海洋基本計画」（平成25年4月閣議決定）等に基づき、技術開発等を実施します。
- 砂層型メタンハイドレートについて、商業的産出のために必要な技術の整備に向けて、平成28年度に1ヶ月程度の海洋産出試験等を実施します。
- また、主に日本海側に賦存が確認されている表層型のメタンハイドレートについても、資源量調査の結果を踏まえて、資源回収技術の調査等を実施します。

【参考1】『経済財政運営と改革の基本方針2015』（第2章 1. [1]（資源・エネルギー））

より多様で柔軟なエネルギー需給構造の構築に向け、（中略）、メタンハイドレート、（中略）などの国産の海洋資源の調査や実用化に向けた取組を進める。

【参考2】『日本再興戦略改訂2015』（テーマ2.(3)⑤海洋資源開発の推進及び関連産業の育成）

砂層型メタンハイドレートについては、長期の海洋産出試験や日米共同研究等を実施し、長期・安定的な生産技術の開発に取り組む。また、表層型メタンハイドレートについては、資源量把握のため集中的な掘削調査を実施し、その結果を踏まえて資源回収技術の本格調査・研究開発等を行う。

成果目標

- 平成18年度からの事業であり、「海洋基本計画」等に基づき、砂層型については平成30年度を目途に、商業化の実現に向けた技術整備を行います。表層型については、我が国周辺海域における資源量評価の結果を踏まえて資源回収技術の調査等を実施します。

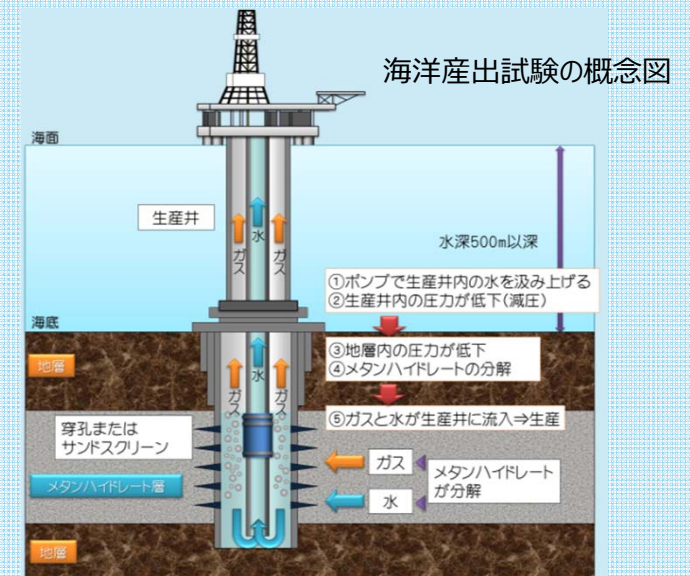
条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

砂層型メタンハイドレート

〔 1ヶ月程度の生産試験を実施 〕



表層型メタンハイドレート

〔 表層型メタンハイドレートの地質サンプル 〕

